

松梅校道徳通信

令和7年7月28日

文責：伊藤

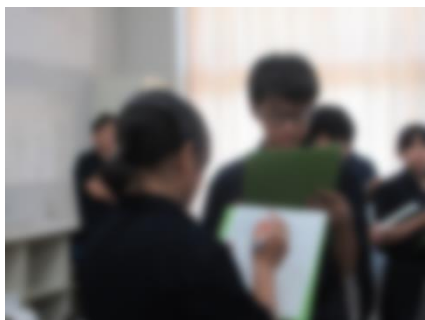
7月は「郷土愛」について考えました

今年度2回目の研究授業が7月16日（水）に中学部で行われました。今回のテーマは「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」です。中学1年生、2年生が、それぞれに応じた教材で取り組みました。ぜひ、ご家庭でも子どもさんと「郷土愛」について話し合ってみてください。

中学1年生『島人ぬ宝（BEGIN）』

石垣島の中学生が、「島への思い」をテーマに書いた言葉を基に作詞された「島人ぬ宝」。この曲を聴き、歌詞に込められた「宝」とは何かを考え、さらに自分の中の「宝」について考えました。

クラス全員と意見交換をして、多様な価値観に気づき、その「宝」を今後どうしていきたいかという思いを発表しました。



<生徒の感想から>

- ・自分の宝である友達、松梅の自然や文化をこれからつないでいくことが大切だと思いました。
- ・身近にある友達や家族、自然を今以上に大切にして、感謝を伝えていきたいです。
- ・松梅の昔からある伝統を次につないで、多くの人に松梅の良さを知ってほしい。

中学2年生『祭りの夜』

秋田県の竿燈祭りに参加している地元の中学生。そこに来ていた観光客から、祭りについて教えてほしいと頼まれる。祭りの歴史や込められている意味を話していくうちに地元のことをもっと知りたい、いろいろな人に伝えたいという思いを強くしていくという中学生の作文が題材。

自分たちのふるさと松梅の素晴らしいところを考え、「先生との対話」「教材との対話」を通して考えを深めていきました。



<生徒の感想から>

- ・松梅について知ることで、他県の人に松梅について説明できるし、自分でも改めて松梅のよさについて気づくことができると思いました。
- ・他の地域から来た人に気づかされるような、気づきにくい素晴らしいところをもっと知り、それがどんなにすごいことかを知っていきたい。
- ・これから、まだ知らない松梅のことを知って、次の世代に伝えたい。

※次回の研究授業は、9月。「生命の尊さ」をテーマに、研究授業が行われます。